

# 総務建設経済常任委員会会議記録

1. 期 日 平成 29 年 11 月 17 日(金) 開会 9 時 30 分  
閉会 10 時 55 分
2. 場 所 第 1 委員会室
3. 付議事件 ①児童遊園地・子どもの広場について  
②事業効果の検討について  
公園等維持管理運営経費
4. 出席者 野地委員長 善波副委員長 二宮委員 杉崎委員 柳川委員 二見議長  
傍聴議員 0 名  
一般傍聴者 0 名  
議会事務局 2 名 (局長、主任主事)
5. 経 過

議長あいさつ

## ①児童遊園地・子どもの広場について

委員長 「児童遊園地・子どもの広場について」は、公園統廃合計画策定及び今後の整備に向けて、先進自治体の視察を実施した。視察先は「公園わくわくプラン」を策定し、平成 17 年度～26 年度の 10 年間で、市民と共に整備してきた「長野県茅野市」（人口 55,826 人、世帯数 22,878 世帯、一般会計予算額 228 億 4,000 万円）とし、少子高齢化による公園のあり方と公園緑地の存在効果について調査した。日程は、平成 29 年 11 月 6 日（月）13:30～16:30 で、参加者は、委員全員、同行議員 6 名、随行職員として宮嶋都市整備課長、和田議会事務局庶務課長である。

調査内容は主に 3 点で、①公園わくわくプランを策定した動機②計画を進める上での問題点や解決策③市民の満足度と経費削減効果などである。

①わくわくプランを策定した動機は、少子高齢化や不景気などの社会情勢の変化により公園に対するニーズが多様化する中、設備の老朽化も進み、市民アンケートでもこの問題が多く指摘されたため、市民参加の公園づくりの指針、区長や地区の代表、高齢者クラブの代表などをメンバーとして「茅野市公園マスタープラン策定委員会」を立ち上げ、課題検討を重ね、わくわくプランを策定した。

②計画を進める上での問題点や解決策だが、地元住民による「各公園ごとにわくわくプラン推進委員会」を組織、検討を行ったが、意見の選択に優先順位をつけることに苦労した。

③市民の満足度と経費削減効果満足度調査はこれからだが、聞き取り調査では、概ね好意的。既存公園のリニューアル対応であったこともあり、費用としては大幅な減となった。その後意見交換し、市民管理公園と都市公園の岳麓公園を視察した。感想ある方はお願いします。

二宮 これほど多くの収穫があるとは想定以上であった。土地柄が違ってもあり公園

の考え方はさまざまあると感じた。大きな点としては、都市公園と自治が管理する地元の公園では、はじめから変わっていた。このような管理の方法もあると感じ、将来的にはわが町にも取り入れたいと感じた。都市公園は、市が管理し、それぞれの自治が管理する公園は、名前ばかりではなく、基本的に日々の管理も地元で行い、計画書の作成をもって市が年間 50 万円までを上限に費用を負担するなど、非常に細かい取決め等もあった。また、随所にわたり市民の声を非常によく聞いている。植樹 1 本にしても、見学した岳麓公園にあった桜も、地元の若者会が選定をした桜であり、市民の声を吸い上げながら愛着の持てる公園ができている。これが公園を大事にするという精神につながっていると感じた。

委員長            その他あるか。

柳川                自治体として二宮を茅野市は違うところがあるが、ただ言えることは簡単に言うと、公園に対してなるべく経費をかけないということである。それをどのようにやっていくか。また、地域と公園との関係である。それを今回視察させてもらったわけだが、二宮町にそのまま持ってくるのは非常に難しい。ただ、公園というものをどう管理していくか。新しい住宅地もでき公園もできるが、町の管理としてどのようにするのか町ももっと真剣に考えていく必要があると感じた。

委員長            その他、ご意見ご感想はないか。

議長                地域の公園の管理について、二宮町にもこれから言えることだが、茅野市では地域の公園は、その地域で管理しており、地域のみなさんが草刈り等いろいろ管理をしている。このことが一番の特色であった。また、経費の面では毎年 50 万円の上限の補助があり、地域でその公園を管理しているということは勉強になった。

委員長            他の方でいかがか。

杉崎                反省点だが、茅野市の見せたいものと、我々が見たいものにズレがあった。我々はここでいうと、地区のふれあい広場を徹底的に調査したかったわけだが、考えてみると二宮町と茅野市では成り立ちが違う。地区ふれあい広場は、もともとある境内や空き地が自然発生的に広場となって、市が公園として補助金を出し整備するという流れであった。二宮町は元から公園として町民に認められている公園を、いかに住民に任せるかという課題である。それを研究し、これから執行者側が進めていくであろう統廃合に結びつけたい。それと、「これが 1 番」という中学生が作成したパンフレットがあったが大変参考になった。二宮町も参考として、野球ができる公園はこの公園、バーベキューに関してはやっというか分からないが、バーベキューができる公園はこの公園というように特色のある公園を狭いながらも、「これはここが 1 番」と目指していけたらよい。

議長                杉崎議員が言うとおりの、地域の公園結局目的はそのあたりを見たかったが、1 かの境内の延長のような広場しか見なかったことに反省点があった。他にはどのような公園があるか見るべきであった。地域の公園というと神社の境内の公園というイメージになってしまった。

委員長            都市公園と地区ふれあい広場をはっきりと分けて見た。計画に移る時には行政側

も市民の主体性を取り入れて進めたということであった。また、経費をかけずに町民意見を聞くということ。地区管理としても行政として上限 50 万だが、申請があれば補助を出すというようなバックアップ体制も取れていた。中学生が作成したパンフレットが公園の特色が明確に分けられており、非常に良かった。

反省点として地区ふれあい広場という名目を研究したかったが、実際に市民の方々がどのような管理をされていて、どのような苦労があるのか、市民の方々の意見を聞けなかったことは研究調査に不足した部分であった。面積、予算、住民意識の違いはあるが、公園の管理の方法については地域での必要性、地域住民が主体等、固定観念にとらわれず、当町においても改善が必要であると感じた。今後の公園のあり方については、大いに役立った視察であったと考える。このような内容で本会議の委員長報告で報告したい。

なお、お手元にある「平成 29 年度総務建設経済常任委員会視察報告書」について、一部追記したい。報告者に 2 日目の原村についての報告は、副委員長の善波委員作成のため、報告者の箇所に追記したい。また、参加者に宮嶋都市整備課長と和田議会事務局庶務課長を追記したいと考えるがいかがか。

（「異議なし」との声あり）

委員長           では追記する。

杉崎           12 月議会で報告するということが、町の計画がまだできておらず、そこまで踏み込めなかった。そのため引き続き継続調査を行いたい等、次の段階に踏み込んだらどうか。

委員長           今後、委員会としてどのようにつないでいくかということで、12 月以降も継続調査をするという意見が出たがいかがか。

二宮           賛同したい。1 つの視察でいろいろな内容が新たに出てきて勉強になった。他にもいろいろ見て勉強したい。

柳川           同意見で、簡単に決まるものではないため、いろいろな事例を見て勉強しながら継続したい。

善波           二宮町も統廃合計画をしているため茅野市の視察の状況と合致するところは進めていき、調査を継続することは賛成する。

杉崎           しつこいようだが、9 月から 12 月の間に執行者側に計画の有無を聞いて、まだできていないということであったのだから、その動きも報告に載せるべきではないか。委員会としてきちんと動いており、報告書もできていないため、引き続き継続調査を行うとしたらよい。

委員長           皆さまのご意見として、町から統廃合計画がまだ出されていない。しかしながら、1 月頃にパブリックコメントにかかるような情報も入ってきている。12 月議会以降の公園のあり方について、公園統廃合計画につきましても、町民の意見イコール委員会からの意見を、行政側に対し申し入れることを踏まえ、調査研究を継続するというのにいたしますがよろしいか。

(「異議なし」との声あり)

杉崎 計画書は事前に概要でも見る事ができるのか。

委員長 見ることは可能であると聞いているが、勉強会として改めて申し入れはする。時期は今後の調整となる。

善波 以前、委員会で調査した町内の公園だが、地域に任せて地域広場にの方がよい公園や緑道にした方がよい公園等、ある程度の話は都市整備課に伝えてある。加味した内容で出てくるのではないかと考えている。

委員長 全公園についての今後の方針、全体で約1センチの計画書になると思う。

---

## ②事業効果の検討について 公園等維持管理運営経費

委員長 資料が3点あるが、ひとつが昨日ホームページにアップされた「平成29年度基礎評価シート」で、これは執行者側が各事業について、半期の執行状況についてコメントを入れているものである。A3の資料は、11月14日現在で、どの公園にどのような管理を行ったのか公園ごとの詳細になっている。それと「平成29年度事業効果評価シート(議会用)」は、議会からの評価ということで、必要性、妥当性、有効性、効率性、総合評価、今後の方針と特記+コメントがあり、これを利用して議長に提出したいと思う。この内容についてこれから議論したい。昨日ホームページに上がったばかりなので、まずは1分ほどで目を通していただきたい。事業評価だが、これは約8,500万円の公園維持管理運営経費の半年間のものになる。表に沿って伺う。必要性についてはどうか。併せて理由も伺いたい。

議長 必要性の評価欄の「町が行った方がよい」と「委託等の必要がある」との兼ね合いがどのようになっているかよく分からない。

委員長 公園が全部で70数個ありその中で、児童遊園地と子どもの広場が56か所あるのだが、もちろん町が行った方がよいものもあれば、委託等の必要があるものと分かれてくると思われる。場所が多いため、事業すべてを委託すべきとすれば「委託等の必要がある」を選択し、「町が行った方がよい」には一部については委託も含まれる。そのへんは評価コメント欄にコメントできればと考える。

議長 委員長が答弁したとおりであると思うが、町が行うということは委託先も町が委託して行うわけで、「町が行った方がよい」とは、町はどのように行うのか、その辺がわかりにくいと思い委員長に聞いてみた。

委員長 委託であろうが直接の管理であろうが、手法はどうであっても町が行わなければならないという議長のご意見かと思う。公園管理は町が行うべきである。手法は右のコメント欄に例えば、「町が行うべきであるが、公園によっては地域、団体等による管理も議論する必要がある。」というのはいかがか。

- 善波 大きな公園、都市公園的なものは別として、地域の児童公園、広場に関しては、町も管理すべきであるが、自治会や地区に管理を委ねる場所も委員会で調査した中であつたが、どのように地区とすり合わせをし、地区管理に持って行けるかがある程度確定してこないと明確に出てこないのではないか。
- 杉崎 話が戻ってしまうが、この評価シートは出来合いのものか。
- 委員長 そうである。
- 杉崎 この文言は、分かりづらい。選択肢は変えることは出来ないのか。
- 委員長 文言の変更については投げかけをしてみる。
- 柳川 結局、町が管理しても実際の作業は委託になっている。必要性から言えば、「町が行わなければならない」になるはずで、委託先が地区や団体となるのではないか。
- 委員長 公園であるので、現状として町が行わなければならない。評価コメントとして公園によっては、地域・団体、委託も含め管理を議論する必要がある。
- 善波 茅野市の神社の境内が広場として地域で管理しており、二宮でも我々の調査で、該当するような箇所があつたと思うが、公園として考えるか地域の広場として考えるか区分けをできるのか。そして、地域で責任を持って、使い方も含めて管理してもらえればベストだが、そのあたりを考えると今回の評価の選択肢は難しい。
- 野地 全体としては、現状としては、町が行うべきということであると思う。今の善波副委員長の話では、管理だけでなく用途変更についても、議論が必要であるということである。委託管理も含め、地域の対応も含め、議論を進めるようにということでもとめたい。まとめたものは、皆さまに配信する。  
妥当性について、非常に選定が難しいかと思うが、いかがか。
- 杉崎 現実的に町が出しているわけで妥当でよいかと思う。
- 二宮 私も妥当でよろしいと思う。現状、町が管理しているものに関しては、手を入れているわけであり妥当ではないかと思う。
- 委員長 では、公費投入の妥当性については、妥当という評価にする。また、判断理由や評価のコメントは、町が管理する以上公費投入するのは当然であるということだった。今後、それでよいかは、必要性のところになってはしまつたが、公園ごとの用途の変更や管理主体は極端に言う自治会費、町内会費等での管理もあり得るかもしれないということも含め、現在は妥当であるが、議論をしていくとする。
- 杉崎 有償というのは借地だと思うが、借地としての方が分かりやすいのではないか。
- 委員長 では、借地として必要であるかどうかを含め、用途、管理主体という言葉で議論が必要だとする。  
有効性について、評価コメントも併せて意見あるか。

議長 有効性の中の、十分成果が上がっている・成果が上がっている・成果が上がっていないとあるが、ここから選べとなれば、やはり成果が上がっているしか選べない。他の言葉があれば検討の余地はあるが、十分成果が上がっているとは言えないが、成果が上がっていないとも言えないためである。

委員長 配布の A3 資料に記載があるが、必要な箇所、必要な回数ということで、剪定作業、病害虫駆除、ベンチ修繕等行っている。町民が気持ちよく使えるように経費をかけており、一定の成果は認められるものと思う。しかし、場所によっては、遊具やベンチは不要であるという地域住民の声もある。費用全てが、十分に成果が上がっているかの、見直しは今後必要である。成果は上がっているものの、地域住民の期待に沿っているか、過剰な整備はないのかということも踏まえ、先ほどから言っている用途の変更や委託管理の手法等含めて、コメントを付け加えたい。

議長 評価の言葉だが、行政側から見た評価と、町民側から見た評価で変わってくる。委員長が言ったように、例えば今の成果が上がっているについては、成果は上がっているがどうのこうの等、付け加える等検討が必要ではないか。

委員長 評価の言葉については、事業効果検討チームに諮る。教育福祉常任委員会もこのシートを使用しているため、合わせる必要があるか、独自に評価のコメントを付けてよいのか確認し最終的に入力して皆さんにご覧いただくこととする。引き続き、効率性、費用の適正化について意見あるか。

善波 改善の余地があるということでよいかと思う。コメントの方が重要で、コメントは有償地を借地に変更した方がよろしいが、内容はこのままでよいかと思う。

委員長 他に意見あるか。なければ総合評価について、行政側の基礎評価シートの ABCD に合わせている。今までの皆さんの意見を伺うと、B 妥当性、有効性、効率性はよいが、一部改善し推進するとするか、もしくは C 事業全体を見直す必要があるとなるかと思う。ダメだという評価が無いため、B の一部改善を推進するという評価とするのがよろしいのではないか。事業予算の進捗率については現在 79.05 パーセントで内容は資料のとおりである。総合評価について、意見あるか。

(挙手なし)

委員長 では、今後の方針と特記について、いかがか。ここまではなしでよろしいか。最終的に意見があれば伺うが、2 議会評価について意見があったので進める。事業の方向性としては、今までの意見からすると縮小となる。これは、公園の箇所数、もしくは管理手法、用途変更を踏まえ、全体としては 8,500 万の予算が縮小されていくものだという判断でよろしいか。評価理由として、私の意見を入れてある。

杉崎 予算執行がなされておらず、ではなく旧態依然を強く強調するのはどうか。地域性や必要性は予算執行とは別問題だと思う。「児童遊園地、子どもの広場 56 か所については、旧態依然の維持管理手法であるのが現状」としたらどうか。地域性、必要性はその下の文章につなげればよい。

委員長 今までの評価の内容からすると、予算執行がなされていないという部分は、言葉として誤りではないかというご指摘があった。予算執行については、改善の余地はあるものの、成果が上がっているという評価となっているため、管理手法は旧態依然のままであり、今後は思い切った改革が必要であるとまとめたいがよろしいか。

二宮 この表は、予算を組んだ際と同じものであるか。執行するにあたり、使っていると表現するのであれば、今後の予算の執行予定もあった方がよいのではないか。

委員長 決算資料の各公園の作業内容については、年度当初からはっきり決まっているものではなく、ある程度目安として分散化されていたが、実情に応じて動くのが現状である。事業評価は予算に対するものであり、縮小した方がよいと委員会として出したので、予算についても評価理由の中に入れるのも当然である。言葉としてはどのような言葉にするか。予算執行がなされておらずというところは、現在のところ予算執行率 79.05 パーセントで、成果が上がっているという評価のため、このあたりの数字を取り入れたらどうかと思うがいかがか。

杉崎 これからは、草刈りがいらなくなる。この数字からいくと未執行が多分にあると思われる。公園によっては5回やらなくてはいけないが、今年は気温が悪いからだとか、日当たりが悪いから等で、1回で済んでしまった等ではばつきがあると思う。今の時点では、予算の執行状況が良い・悪いは自然相手であって、我々が求めても執行者側が辛いのではないか。

委員長 現状としては、執行率 79.05 パーセントだが、良いのか悪いのか判断は難しい。現状としていくら使っているかは入れられるが、入れるのか全く触れないかいかかか。

杉崎 これは今年度初めてで、来年度は去年の今の時点で比較ができるのではないか。

二宮 昨年の執行状況は出ていないのか。

委員長 決算では当然でているが、昨年度は事業評価ということでの中間評価をしていないため、この時期の時点では把握していない。次年度、必要であれば掲載していくこととする。

付帯意見について、資料に記載してある文章に意見あるか。

議長 有償地を借地に変えたが、付帯意見の中に借地返還という言葉を入れたらどうか。

杉崎 茅野市に習い、「地域住民の要望を取り入れた」という内容を「公園統廃合計画」の後に入れた方がよい。

委員長 お二人の意見を追記したいと思う。他に意見がないようであれば、提言書の取り扱いとなる。事業効果検討チームとしては、教育福祉常任委員会とともに、提言書として12月議会に出したいという意向がある。評価については今できたので、報告できるが提言書となると、文書として作成する必要がある。

休憩 10時33分

再開 10時40分

委員長 提言書については、12月議会では出せる段階ではないが、今まで行ってきた閉会中の調査事項としては、ここで評価したので提出するというところでよろしいか。

(「異議なし」との声あり)

委員長 その他何かあるか。

杉崎 12月議会以降の閉会中の調査を、今、正式な委員会であるから決めてしまっただろうか。

委員長 今、杉崎委員より12月定例会後の継続調査についてこの場で決めておくべきだという意見があったがいかがか。

二宮 1回の視察で多くのことを学べたので、もっと視察して視野を広めたい。

委員長 児童遊園地・子どもの広場について、継続調査としてパブリックコメントも出て、来年度予算も計上される中、そこまでは今後も我々も調査をするし、行政側に対しても意見を言っていきたいという旨での継続調査というご意見か。

二宮 そうである。

議長 来年、改選であるから、目標を今年度中にする等、目標を設定した方がよい。

杉崎 前例に習えば、今から3年前に総務建設経済常任委員会が東大跡地だったか、やっていた時に9月議会に最終的に提言書を出したと思う。来年の9月までに出すということになる。もちろん3月でも6月でもよい。前例を言えばそのようなことがあった。

委員長 質問だが、提言書を出すということだが、児童遊園地・子どもの広場について3月で終わりではなく、来年9月まで継続して進めていくという理解でよろしいか。

議長 どこかで区切らないと改選して新しいメンバーになってしまう。ある程度いつまでという目標を定めた方がよい。

杉崎 先ほどの公園の統廃合計画の関係もある。計画が定まり次第、速やかに次の本会議までに出すというのはどうか。

議長 杉崎委員のおっしゃるとおりでよいかと思う。

委員長 今回、公園統廃合計画が示されてパブリックコメントを経た後、3月に正式に制定される予定であり、30年度予算もそれに伴って作成される。したがって当委員会につきまして、計画の内容をしっかりと確認していくとともに、予算の妥当性について調査を研究し、その計画に対し、もしくは公園のあり方について6月議会に提言書として提出する。ということよろしいか。



(「異議なし」との声あり)

委員長           では、そのようにさせていただく。

議長            わからないので聞くが、先ほども出たが、事業効果検討委員会がまとめをやっていくのかと思っていたがそれは違うのか。

委員長           それは違う。事業効果検討委員会という組織は存続しない。各常任委員会において、統一的な見解で進めていくための旗振り役としてある。統一性を図るために意見をもらうが各委員でまとめて議長へ報告する。

                  確認するが、今、児童遊園地・子どもの広場の話であるが、都市公園 17 箇所についてはどうか。先ほど今後の課題とするという評価に留めているが、閉会中の継続調査については子どもの広場 56 箇所ということによろしいか。

善波            吾妻山の借地料の問題など、大きな公園に関しては一般質問の中でやっていけばよいと考える。

委員長           ではそのようにさせていただく。事業効果の検討について閉会中にあったわけだが、12 月定例会後の扱いはどうするか。私も把握できていないが、例えば 3 月議会に向けて何かを評価し、行政に向けて意見するということはあるか、もしくは必要か。

杉崎            初めてのことで自分が言い出したことだが、決算だと年遅れになってしまうが、早く予算に反映できるだろうということであれば、3 月にやっても意味はなくなるだろうが、使い切っていたり、未執行だったりとなる。どちらでもよいが、継続しておかないとできないため、継続しておけばよろしいのではないか。

委員長           他に意見あるか。ないようであれば、このまま継続して、事業効果もやっていこうという意見のため、委員会としての総意とする。事業効果検討チームにも投げかける。必要性を認められないということであれば、割愛するということがか。

杉崎            12 月議会に入って、教育福祉常任委員会とも調整すればよい。

委員長           その他なにかあるか。

二宮            視察の件であるが、一泊に限らず近場であればいかがか。

杉崎            十分可能である。政務活動費を活用して良いところを見つけて行きたい。

委員長           身近なところで公園について先進的な管理をしているところがあれば、ぜひ視察に行きたいということなので、皆さん情報共有をお願いします。

善波            地区社協の会で、湘南台へ行ったが、お年寄りが公園で体操したりするような、充実した公園がある。始めは近所の人が一人か二人だったのが徐々に増えてきて、週何回かヨガをやったりするようになったという。こういうのが公園だとしみじみ

感じてきた。二宮にはそういった公園はなく、湘南台は近いので委員会で皆さんが行こうとなればよいかと思う。

委員長

そのように積極的に行きましょう。他になければ、公園統廃合計画の説明を聞きたいということについて、24日の議会全員協議会の後で集ってもらい、説明をしていただくか、資料を見せてもらうのはどうか。また、事業効果の件についても、そこでもう一度何かしらの報告ができればと思っている。今の評価の内容等をまとめたものの確認もしたいと思うがいかがか。

(「異議なし」との声あり)

閉会 10時55分